

善仁寺寺報

ぜんじんじしほう

発行日 平成二十二年十一月四日

第二号

発行人 青山 満
 発行所 東京都文京区小石川4丁目1-3番10号
 真宗大谷派 石川山 善仁寺
 電話 03(3861)4800
 ファックス 03(3861)32010
 メール kbkpm386@ybb.ne.jp
 ホームページ <http://zeninjinji.web.fc2.com>

こんにちは。皆様、お変わりありませんでしょうか。すっかり季節は秋から冬へ変わろうとしています。早速、第二号を発刊できるとなりました。

創刊号についての意見、感想を皆様頂き、とても励みになりました。早速、今回の特集の内容は、質問の多かった、お内仏と

平成二十三年(2011)年、年回表



作法について取り上げました。ご参考にしてみてください。その他、リクエストお待ちしております。



善仁寺寺報では皆様のお便りをお待ちしています。宛先は発行人、送り先は発行人に同じです。また、質問などございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

今年最後の寺報になりますので、来年の年回表をお知らせいたします。この中で、「法要」が軽重め」という言葉があります。法要には軽い、重いがあるという意味です。故人が亡くなった年より月日が経つほど法要は重くなります。毎年のご命日(祥月命日)といえます。(この「周年」は「周年」の二回、三回と重くなることを言います。最も重く法要は五十回忌といわれます。あとが五十年(ごご)法要をこ

いきます。意外に思われる方が多いでしょうか。ごついでに「ごご」法要は重くなるというのでしょうか。

大半の方は亡くなってから年月が近いほうが重要と考えてしまう傾向にあるかと思いますが、実は全くの逆なんです。それは年月が経過して、知らされること、故人を失った悲しみを通して初めて教えられたこと、やはり直接に接したことがない先祖に思いをはせる時に、見えてくるとは、時間の経過を通して少しずつ明らかになるというのかなのかもしれません。

善仁寺からのお願い

「葬儀」については、菩提寺である当山にご相談して下さい。

「葬儀、お通夜などの仏事は重要な法要です。」「法名をおつけする際には故人のお話をお聞かせ下さい。日程についても事前にお打ち合わせして下さい。

葬儀社によっては宗派が守ってきた伝統を無視し、目にあまる行為も、近年見受けられます。そのおつなごうのなきおつ、善仁寺に所属する門徒であれば、まず当山へご連絡して下さい。遠方の場合でも、ご相談していただけます。可能な限り対応いたします。

一周忌	平成二十二年
三回忌	平成二十一年
七回忌	平成十七年
十三回忌	平成十一年
十七回忌	平成七年
二十三回忌	昭和六十四年 (七月日まで)
二十五回忌	昭和六十二年 (一月八日から)
二十七回忌	昭和六十年
三十三回忌	昭和五十四年
三十七回忌	昭和五十年
四十三回忌	昭和四十四年
四十七回忌	昭和四十年
五十回遠忌	昭和三十七年
百回遠忌	明治四十五年 (七月二十九日まで)
	大正元年 (七月三十日から)

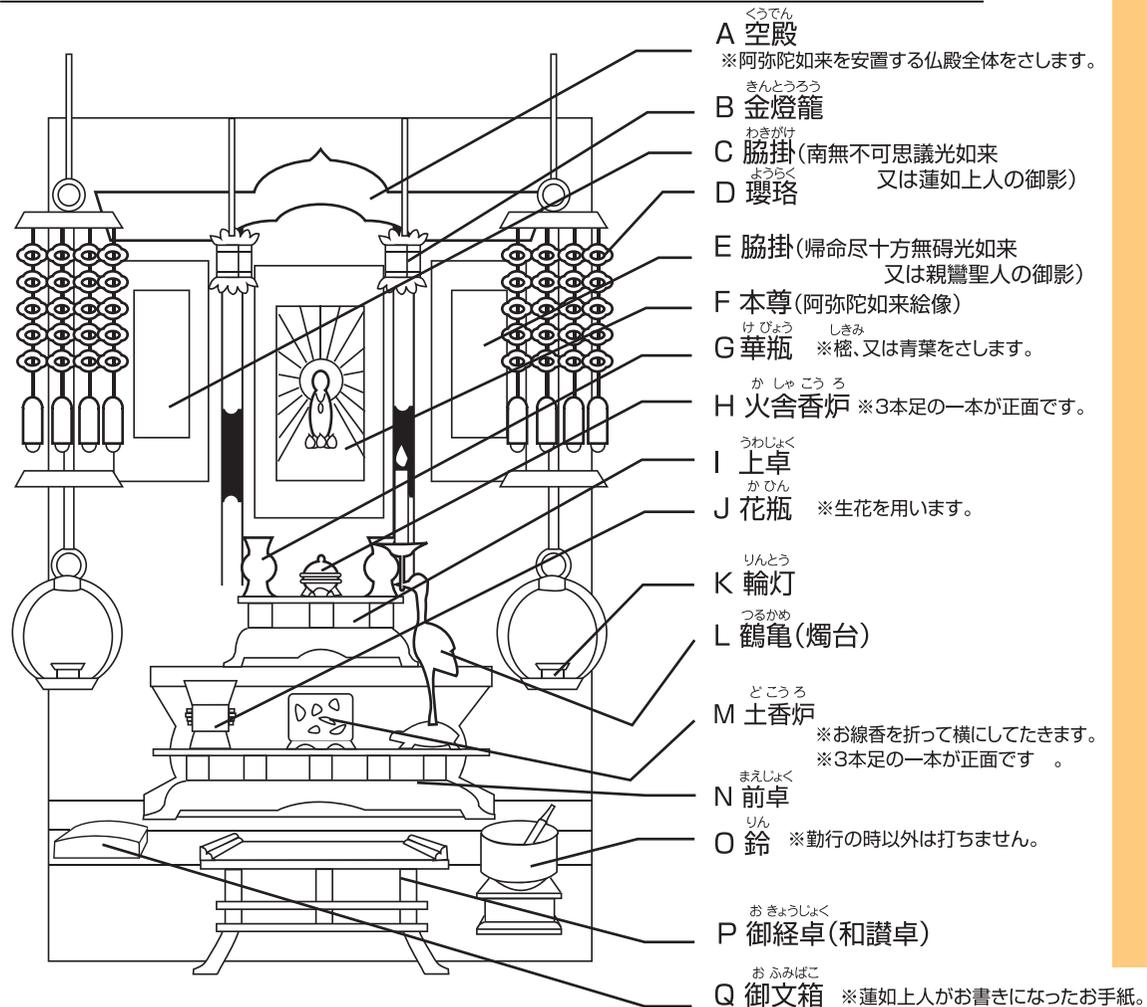
特集

仏壇と給仕作法

さて、今回の特集は当流のご門徒として、どのよう^{きょうし}に仏壇を飾りつけ、日々のお勤めをしていくかをご紹介します。

まずは下図に仏壇の荘嚴^{しょうげん}のイラストと名称をを確認してください。どのよう^{きょうし}でしょうか？皆様の自家の仏壇^{ぶつだん}（お内仏^{うちぶつ}）と違います。（と見比べて下さる。

これ以外にも、もっと略式の形もあります。ここに示したのはあくまで、基本的な荘嚴の場合です。で、説明は……と思つたら、もう書へスペースがないみたいです。（と）と、説明は次回（と）。



善仁寺からのお知らせ

十月中旬に本堂を除く、一階全室にエアコンが設置されました。長らく夏季の暑い中、お待ち頂き、大変申し訳なく思っております。今年の猛暑の際には、残念ながら設置が間に合いませんでした。来年の夏は涼しんでお待ち頂きます。また、洋室（喫煙室）の内装工事が完了いたしました。

編集後記

早くも、第二号を発刊できました。でも、今回はイラストや年回表などで、あまり記事を書くスペースがとれませんでした。特集については、次回に詳しくご説明いたします。ですので、今号をお手元に保管して、次号の特集とあわせてご覧ください。

さて、先日（十月十八日）、当山報恩講を執り行いました。ご参詣いただきました方はいかがお感じになりましたでしょうか。楽なども入り、普段の法要とは違い、とても華やかな法要であったかと思えます。今年、ご都合が悪くお越しいただけなかった方は是非、来年に来てください。早いもので、すっかり寒くなりました。あの猛暑がいつのまじいのです。お風邪などにはお気をつけて、年末の除夜の鐘、年始にはお参りください。

